

社会資本整備審議会 道路分科会 第13回北海道地方小委員会

議事概要

1. 日 時 平成29年3月7日（火）10時00分～11時00分
2. 場 所 TKP札幌駅カンファレンスセンター カンファレンスルーム2B
3. 出席者

[委員長]

田村 亨 北海道大学大学院 教授

[委員]

加藤 由紀子 北海商科大学 教授

島本 和明 日本医療大学 総長

菅井 貴子 気象防災キャスター

平岡 祥孝 札幌大谷大学 教授

4. 議 事

- 平成29年度予算に向けた道路事業（直轄事業）の新規事業採択時評価について
- ・一般国道36号 白老拡幅

【委員からの主な意見】

- ・当該事業は、観光期渋滞の解消や、物流ルートのボトルネックの解消に資するものとして重要であると認識。加えて医療面においても、2車線区間は救急車の追い越しが難しく救急搬送の支障となっているため、地域住民の暮らしを支える観点からも、ボトルネック箇所の拡幅整備は必要性が高い。
- ・当該地域は、北海道内でも比較的雪が少ない地域だが、近年は太平洋側でどか雪の発生頻度が高くなっている傾向。冬期の堆雪による車道幅減少等への備えや、並行する高速道路の降雪等による通行止め時の代替性という観点からも早期整備が必要。
- ・インバウンド観光では、近年、外国人のレンタカー利用者が増加傾向で、外国人は日本の道路の車線数変更などの絞り込みが不得意という声もあるため、解りやすい道路構造や案内などが求められる。
- ・高規格幹線道路だけではなく、このような既存道路の改善も非常に重要。
- ・苫小牧市から室蘭市間の残りの2車線区間も、観光や物流にとって重要であることから検討して欲しい。

【委員長による総括】

- ・一般国道36号 白老拡幅の新規事業化については妥当である。

以 上